

平成28年度 政策づくり塾

地域公共活動報告会・修了式（第10回活動）

一年間の塾活動の集大成として、塾生が企画・実践した公共活動についての報告と今後に繋げていくための提案を発表する「地域公共活動報告会」を開催。塾生の職場の上司や同僚など約60名が聴講に來られ、熱のこもった発表に聞き入りました。その後、修了式が行われ、市長から12名へ修了証が渡されました。

地域活動報告会

「舞鶴版スマートウエルネスシティの実現に向けて～無関心層への挑戦～」グループ

(羽賀・松岡・竹ノ内・土下・堀江・松井)



「平均寿命と健康寿命の差」「健康格差」が拡大している今、スマートウエルネスシティの実現が必要であり、運動に無関心な層へ働きかけるウオーキングイベントを実施。

◆ウオーキング講座の開催…誰もが簡単に実施でき継続しやすいウオーキングに焦点をあて講座を開催。参加・継続を促すため「ウェアラブル端末」を導入。

◆提案…ウェアラブル端末というツールの有効性を確認→貸出などの利用促進策を実施することで無関心層の行動変容を促す。

◆活動での気づき…運動が無関心な人でも実際に体験すると感心層へと変わっていく。いかに、無感心層へ働きかけるかが重要。

「小学生の職業体験 わくわくワーク」グループ

(石東・高田・矢島・田畑・眞下・伊藤)

小学生や保護者に舞鶴にある仕事をしてもらい、働くイメージをもってもらいたいとの思いでイベントを実施。

◆職業体験イベントの開催…5つの事業所がブースを構え小学生が様々な職業を体験。参加者、保護者、事業所が普段できない体験に大満足され、次回もあれば参加したいとの感想を得る。

◆提案…民間団体や事業所、市役所などが連携しプロジェクトチームを作ること、で、「職業体験」の継続的な企画・実施をしていく。

◆活動での気づき…市内全小学校にチラシ配布をしたことで申込者が殺到した。→対象者へ確実に情報が届くようにすることが重要。また、小学生の職業体験の需要が高いことが実証できた。



【市長の講評】

「健康寿命をいかに伸ばすのか」「いかにこの地域で働いていただけるか」をテーマとした、両グループの活動は非常に興味深い内容だった。「スマートウエルネスシティグループ」については、運動に無関心な層に運動を継続させるかという課題に対してウェアラブル端末が非常に役立つことを教えていただいた。端末を上手に活用して「健康寿命が長くなるまち舞鶴」としてモデル地域にならないかと考えているので、良いヒントをいただけたと思う。「わくわくワークグループ」については、小さいときから実際に職業体験をすることは非常に重要なことだと思っており、自分の得手とするところを伸ばし、志をもってがんばれるようにするためにも、小さいときからこのような機会を増やしていかないと考えた。市としても支援していきたいと思う。

【塾長の講評】

「スマートウエルネスシティグループ」については、参加しにくい年代を集められたという点やウェアラブル端末の導入など、参加者の満足度を高める仕組みを取り入れた点がとても良かった。また、プレゼンにおいて端末についてよく調査して説明し、導入の可能性の説得を試みたことも評価したい。「わくわくワーク」については、プレゼンにおいて着想から実施まで順をおって発表したことでより分かりやすい内容になっていた。地方創生の取り組みの中で、地域に子どもたちを定着させたいという流れがあり、そこに合った活動に取り組んだことも評価したい。イベント自体も事業所等の協力のもと大盛況となりとても良かった。両グループとも初めての活動としては上出来だったと思う。また、塾修了後も新たな活動ががんばっていただきたい。

修了式

《窪田塾長あいさつ》

本日は第10回に及ぶ活動の最終回となりました。異なる職場の人が集まりグループワークを行うという難しい作業に熱心に取り組んでいただきありがとうございました。また、各々が経験や知恵を持ち寄って活動いただけ良かったと思います。

報告会には4期生の皆さんもたくさん聴講に来られ、また、その中には塾活動修了後も公共活動を続けている方がいます。5期生の中にも「今後も公共活動をやっていきたい」との声があり、大変嬉しく思います。

今年度は修了生をOBアドバイザーとして活用する取り組みを行い、3名のアドバイザーにはたくさんサポートしていただき非常に助かりました。

塾生・OBアドバイザーとも皆さんが協力しながら活動し、今日の修了式を迎えられたことをうれしく思います。これから新しい第一歩が始まりますので、この経験を糧にがんばってください。



《市長あいさつ》



今日まで10回に及ぶ活動において、様々な研修や議論、体験を重ねられ今日の修了式を迎えられました。こうして、新たな公共人材をこの塾から輩出できたことを大変うれしく思います。

このまちには素晴らしいものがたくさんありますが、なかなか市民の皆さんに知っていただけていないと感じています。このまちで生まれて働いていくという意思を持っていただきたいと様々な施策を行っていますので、塾生の皆さんはこの思いを市民の間に入って伝えてほしいと思います。

5期生の皆さんには「舞鶴版スマートウエルネスシティ」「小学生の職業体験」と大変素晴らしい題材を取り上げていただきました。これで終わりとならないよう、引き続き前進させていかなければならないと考えていますので、塾生の皆さんにはこれからも手助けをしていただきたいと思います。

「政策づくり塾」は舞鶴版の人材育成として引き続き6期生を募集して新たな活動に入ります。若者がこれからのまちを担っていくこととなりますので、皆さんの意見を取り入れてまちづくりをしたいと思います。塾生が考えられた企画が事業として成り立つと判断すれば予算化していくことも考えていきます。そうすれば塾活動にもより力が入りますし、また参加者も増えると思っています。

塾生の皆さんの益々のご活躍と塾で目指しているスピリッツが市民と市職員の間にも広く浸透し、このまちが発展することを望んでいます。

《修了証授与》

第5期政策づくり塾生12人は一年間の活動を終え、市長から修了証が授与されました。皆さんの成長された姿と笑顔が印象的でした。

